

世界一のLMSをつくる「志」 Canvas LMSとシームレスに連携する、講義用動画・収録/配信システム



日吉記念館（日吉キャンパス内 2020年竣工）

2020年秋に学習管理システム「Canvas LMS」の大規模導入を
わずか2カ月間で構築

世界中がコロナ禍の折、オンデマンド授業のスムーズな運用を目的
として、授業を視聴する学生と、提供する教員の双方にメリットを
もたらす動画活用環境整備を検討

「Canvas LMS」とシームレスに連携できる
動画収録配信システム"Panopto"を導入
フルオンデマンドに完全対応

動画収録配信ソリューション Panopto を20,000アカウント導入して動画教材を使ったオンデマンド授業に完全対応
音声検索やテキスト検索など、学生目線の使いやすさでスムーズに運用開始

現状課題

オンデマンド授業を視聴する学生側と
講義用動画を制作する職員・学校側の
双方にメリットを生む動画利用環境

導入経緯

学習管理システムとスムーズに連携する
動画配信システムの導入により視聴環境
と制作工程の両方を高水準でサポート

動画収録・配信ソリューション Panopto の導入以前はクラウド式コンテンツ
管理プラットフォーム「Box」を利用。ファイル共有された動画のプレビュー
機能を使って、ストリーミングあるいはダウンロードして視聴する方式

クラウドコンテンツ管理プラットフォーム「Box」と学習管理システムとの連携
は無く、動画視聴とレポート提出など授業に関わるタスクは別々のタスク

講義動画を視聴するためのリンク(URL)共有や、履修者範囲を設定する
手間など、配信側の段取りや作業も個別に必要。
視聴する学生もそれぞれ個別にログインする必要があり、段取りが多い。

講義のフルオンライン化、オンデマンド授業推進の状況下において、全ての
動画教材をスムーズに運用できる環境整備が不可避

動画教材を視聴する学生の観点、または制作/配信管理する学校および
職員の観点からしても、スムーズな動画活用のために学習管理システムと
オンデマンド教材の視聴環境が連携して一元化されていることが望ましい

LTI規格に準拠した講義用動画の収録配信プラットフォームとして、海外の
著名大学にて多くの採用実績を持つ Panopto を導入
新たに大規模導入した学習管理システム「Canvas LMS」とスムーズに連携
学習管理システム「Canvas LMS」へログインすれば、すぐに講義用動画に
アクセスできることで、学生の動画視聴操作が格段にスムーズに！

授業で使っているパワーポイント資料を、そのまま Panopto にキャプチャー
録画するだけで授業動画が完成。これまで数時間掛かっていた動画変換
作業も、わずか数十分の作業に短縮

Panopto と「Canvas LMS」の LTI連携の中では、任意の講義ページに動画を
アップロードするだけで履修者設定された学生に確実な動画提供が可能。
迅速・簡潔かつ、セキュリティ面での安心も提供

今後は対面授業とオンデマンド授業をミックスしたハイブリッド形式への移行
見据え、新しい学びを想像できる「世界一のLMS」を創り上げていく。

授業でご使用されている先生方へのインタビューは、ウラ面をご覧ください。

「伝統を守り進化を続ける慶應義塾」

現在、東京・神奈川の6キャンパスにて、3万人を超える学生を擁し
多様な領域をカバーする10学部を展開。

実証的に真理を解明して問題を解決していく「実学」の重要性を
説いた福沢諭吉の志を受け継ぎ、教育、研究、医療を通じた社会への
のさらなる貢献を目指している。

URL : <https://www.keio.ac.jp/ja/>



日吉キャンパス: 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1



対面とオンラインの融合 / ハイブリッドに昇華する新しい教育のステージ

Interview

動画教材を活用されている先生方にお話をお伺いしました

導入
効果オンデマンド教材の特長を最大限に活かす
動画活用環境を整えて、オンキャンパスと
オンラインを同じクオリティで提供する慶應義塾大学
理工学部 教授 内山孝憲 氏オンデマンド教材を使ったオンライン授業においては
対面授業と同じクオリティを維持することが重要です。今は授業そのものを動画配信に頼っていますが、いず
れ多くの対面授業ができる状況になっても、授業内容
の見直しや再履修、反転授業活用など、オンデマンド
教材は効果的に利用されていくと思います。Panoptoへの要望としては、動画編集機能の拡張が欲
しいところですが、Canvas LMSとのスムーズな統合連携
は、多くのユーザーにとって考えれば、動画配信システム
としての必要十分条件を押さえていると思います。

Q ▶ Panopto への移行はスムーズでしたか？

私が担当している理工学部では、以前から学外への広報の一部として授業
動画をYouTubeにアップロードしていました。
また、学科所有のサーバーから、授業に使う動画を配信していたこともあり
動画を扱う様々な仕組みは以前から構築していました。Panopto導入の際も、すでにBoxとYouTubeにほとんどの動画をアップロード
していましたので、Panoptoへの移行はとてもスムーズでした。

Q ▶ 動画教材を利用する最大のメリットを教えてください

オンデマンド教材は時間と場所を問わずいつでも視聴できることが最大の
メリットです。内容をよく理解できている学生は動画教材を1.5~2倍速で
視聴した上で、聞き逃した部分を改めて再視聴するなど、工夫して効果的
に学習できることはオンデマンド教材の特長部分です。聞き逃した部分や、改めて確認したい部分を探すための優れた検索性は
Panoptoの大きな特長だと思います。

運営管理のご担当者様にもお話をお聞きしました。

慶應義塾大学 日吉ITC (インフォメーションテクノロジーセンター) 主任 今堀隆三郎 氏

2020年のコロナ禍では、学生をはじめとして、学校や教育に関わる全ての方々が様々な
制約を受けてきました。その状況下における私たちの優先課題は全ての学生に対
して質の良い授業を提供すること。そして同時に先生方が授業を作る環境を整える
ことでした。その過程では、導入システムの検証作業や費用の精査など、掛かる作業はとても多かつ
たのですが「良いモノを作る」というキーワードのもと、クオリティの高い授業を確実
に成立させた上で、さらに将来的な前進を見据えて「世界一のLMSを創る」という
高い意識を持って取り組んでいます。導入
効果対面授業とオンライン授業の融合によって
作られるハイブリッドという新しい世界慶應義塾大学 日吉ITC 所長
法学部 教授 小林宏充 氏Panoptoを導入することで、教員にとって効率の良い
動画制作環境が整い、学生にとっても視聴する段取り
がシンプルになったことを導入効果として感じています。日吉キャンパスで推奨するオンライン授業は、ウェブ
会議ツールなどを使用するリアルタイム授業ではなく
動画教材を使ったオンデマンド授業です。従来の対面授業が段階を経て実施されていく過程で
対面授業の良い部分とオンデマンド教材の良い部分を
ハイブリッドに昇華させていく。新しい教育のステージ
に移行していくことに期待をしています。

Q ▶ Panoptoを使ったオンデマンド教材の活用例を教えてください

物理学の授業を担当していますが、秋学期(10月~)から一部の実験授業
が十分なコロナウイルス感染防止策を講じた上で、オンキャンパス(対面)
で実施されています。以前は授業開始から30分ほどを実験内容の説明に費やしていましたが
Panopto導入後は、その説明部分を動画として事前収録しておき、学生が
事前視聴して予習を済ませておく「反転授業スタイル」としました。

実験内容をテキストで予習するより、動画の方が伝わりやすい。

学生は実験手順を把握した上で、授業に臨むことができますので実験
授業がスムーズに開始されます。手順がわからなくなったらPanoptoで
再び確認を行うこともできます。対面授業を効率よく進めるために、オンデマンド教材を利用することも大変
効果的な活用方法であると思います。Panoptoは音声検索やテキスト検索などを使って、見たいポイントをすぐに
探し出せるので、学生の授業効率も上がると感じています。

各種 ICT 製品のご紹介はこちらから

<https://www.avc.co.jp/vss/products/category/ict/>教育市場向け総合ビデオプラットフォーム
動画収録 / 配信・視聴・管理・分析

お問い合わせ

<http://www.avc.co.jp/>AVC 株式会社
映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

システム販売事業部

<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階
<関西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25TEL.03-3527-8660 FAX.03-3527-8666
TEL.06-6836-7827 FAX.06-6310-6144本社 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階
大阪オフィス 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25
名古屋オフィス 〒456-0068 愛知県名古屋市中区熱田区神野町2-70TEL.03-3527-8571(代) FAX.03-3527-8580
TEL.06-6836-7591(代) FAX.06-6310-6144
TEL.052-684-5031(代) FAX.052-684-5065

OVERSEAS : GUANGZHOU / BEIJING / SHANGHAI